



山太郎ガネコンテスト
昨年オス・メスの部で
優勝の内野己伸さん（上吉地）

小さいころから、両親ともにガネ漁をしていた影響で、私も中学生の時からガネを獲っています。ガネ漁の期間は、毎年8月1日から11月30日までと決まっております。1日に30分〜1時間くらい作業します。場所は菊池川漁業協同組合（漁協）に入札を行い1人1力所までと決まっています。

の仕掛けてある金網はとても重い
ためそれができません。この仕掛けには、砂が溜まったり、ゴミがついたりするので、掃除することが重要な仕事です。雨が降った翌日はガネが獲れやすいですね。ガネを獲ることはとても大変ですが、この時期が来ると毎日がとても楽しみです。

山太郎ガネは、里イモと一緒に炊くととてもおいしいです。ぜひお試しください。

和水町に移住し、店をオープンして2年になります。今年初めて山太郎祭に参加します。私は今回、山太郎ガネを使ったカレーとスープを作ります。日本では珍しいかもしれませんが、私の母国であるスリランカでは、海のカニを使ったカレーが普通に食べられています。

そこで、山太郎ガネの味を出すために試行錯誤を重ねました。山太郎ガネはとても繊細で、海のカニよりもダシを取るのが難しく苦労しました。魚介系のスパイスから肉系のスパイスに変えたり、より一層香りを出すために、町の花であるひまわりを使ったオイルにガネのエキスを染み込ませたりしてガネの味と香りを追求しました。今では結構ガネの味や香りがするカレーが出来たと思います。

山太郎祭当日は少し寒いと思います。ガネカレーやガネのスープを食べて、体を温めてほしいです。



山太郎ガネカレーを作る
「わさんたらんか」オーナーの
ワサンタさん（中路）



天草出身の
シンガーソングライター
MICAさん

今年で歌手デビューして13年目になりますが、和水町には、2回ほど仕事で行ったことがあります。初めて訪れたのが、まだ名前もあまり知られていなかった7、8年前に古墳祭に呼んでいただき、ビアガーデン会場で歌った記憶があります。熊本は、どこに行っても緑が多いですが、こんなに緑の多い場所が身近にあるって素敵なのかなと思いました。和水町という名前のとおり、本当にゆったりとしていて和んでいる印象を受けました。

ある天草でも川ガニのことをガネって言うんです。私も子どものころによく川に入って遊んでいましたし、父親がガネを獲ってきて食べていたので、子どものころをすごく思い出します。

久しぶりに和水町に行くと、歌を歌うのが楽しくて。山太郎祭では、5曲ほど披露します。ピアノでしっかりと聞かせる曲もあれば、みんなで手拍子したりして盛り上がる曲もあります。イベントなので、なるべく皆さんが知っている曲を歌おうと思っています。曲を知っている人はだんだん多くなっているの

MICA（シンガーソングライター）

熊本県平成音楽大学オルガン科卒業。中学3年生から作詞作曲を開始。その年に、熊本県小中学校作曲コンクールで、最優秀賞受賞。平成音楽大学入学後、自主制作でオリジナルCDを制作。月に1回のLIVEハウスでのLIVE活動、口コミでオリジナルCD2枚を3000枚販売。2004年ミニアルバム「inori」で全国デビュー。2008年、活動拠点を熊本に移し「二人の道」が収録されたミニアルバム「タカラモノ」を発売。

その他、多くのCMや番組などに楽曲が使用されている。

ですが、私を知っている人や生で聴いたことのある人はまだまだ少ないです。

来場者の皆さんには、私の歌を聴いてほしいです。そして、私を知ってほしいと思います。ぜひ会場に来て、臨場感や迫力を味わっていただきたいと思っています。

なお、時間があれば、サインや握手なども行います。アンコールもしてほしいですね。

山太郎祭当日は、大自然のなか、音の時間を元気に一緒に楽しみましょう。



山太郎祭マスコットキャラクター
環ちゃん、境ちゃん

福引券のついたチラシは、11月1日（火）の区長便で送付しています。11月20日（日）はぜひチラシを持って、山太郎祭会場へお越しください。